

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 169

事務事業名	行旅放浪者対策事業
-------	-----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	保護課		
課長名	辻 雅峰	内線	166
担当者名	川下 善文	内線	160

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020401	暮らしのセーフティネットの充実
施策		低所得者の生活支援
関連施策		

会計	一般		
款	3	民生費	
項	1	社会福祉費	
目	1	社会福祉総務費	
事業コード	020000		

事業類型	1	ソフト事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか			行旅放浪者・身元不明死亡人	
意図	対象をどのような状態にしたいか			行旅放浪者を目的地まで確実に無事に到着させる。また、身元不明死亡人については、警察との連携により、親族・関係者の発見に努め、遺体(遺骨)が親族の元に帰るようにする。	
事業概要	意図を達成するために実施することは何か			行旅放浪者に対し、近隣市町村までの交通費、食事代を貸し付ける。また、身元不明死亡人が発見されたときに、その葬祭及び親族・関係者の調査と連絡・調整を行う。	
事業期間	昭和 62 年度	～	平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	行旅病人及び行旅死亡人取扱法・行旅病人及び行旅死亡人及びその同伴者の救護並びに取扱に関する規則				
国・県補助事業に係る本市単独施策	無				

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 旅費欠乏者移送人数	計画値	48	48	48	48	
		実績値	5	4	7		
		達成度	%	10.4%	8.3%	14.6%	
	② 行旅死亡人取扱人数	計画値	1	1	1	1	
		実績値	0	1	0		
		達成度	%	0.0%	100.0%	0.0%	
成果指標	①	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	5	153	6	292	292	292	292	0
国庫支出金								
県支出金		149	0	246	246	246	246	
地方債								
その他								
一般財源	5	4	6	46	46	46	46	
② 人件費(千円)	397	378	423	436	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.05	0.05	0.06	0.06	・行旅放浪者へ交通費等の貸付 ・身元不明死亡人の葬祭及び親族・関係者の調査と連絡、調整	・行旅放浪者へ交通費等の貸付 ・身元不明死亡人の葬祭及び親族・関係者の調査と連絡、調整	・行旅放浪者へ交通費等の貸付 ・身元不明死亡人の葬祭及び親族・関係者の調査と連絡、調整	
時間外勤務(時間)			0					
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	402	531	429	728				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	行旅放浪者に対し、近隣市町村までの交通費、食事代の貸付を行う。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性
  現状維持

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	法定事務である。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	現状維持		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。